

①日本国特許庁(JP) ②実用新案出願公開
 ②公開実用新案公報(U) 昭54-108957

③Int. Cl.² 識別記号 ④日本分類 ⑤内整理番号 ⑥公開 昭和54年(1979)7月31日
 H 05 K 1/04 59 G 40 6370-5F
 H 01 R 3/00 60 D 0 6969-5E
 H 05 K 3/36 6370-5F 審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑦電気回路基板の組立構造物

⑧実 領 昭53-4428
 ⑨出 領 昭53(1978)1月20日
 ⑩考 案 者 賀代純三
 大津市園山一丁目1番1号 東
 レ株式会社滋賀事業場内
 同 小川絶宣

大津市園山一丁目1番1号 東
 レ株式会社滋賀事業場内

⑪考 案 者 和久田弘
 大津市園山一丁目1番1号 東
 レ株式会社滋賀事業場内
 ⑫出 領 人 東レ株式会社
 東京都中央区日本橋室町2丁目
 2番地

⑬実用新案登録請求の範囲

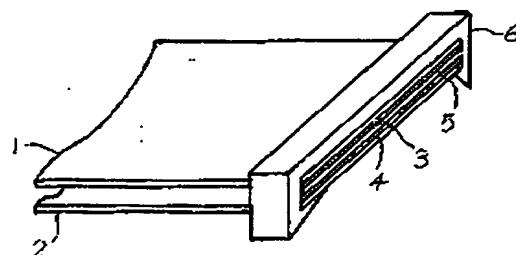
電気端子を有する一对の電気回路基板の間に異方導電シートが介在されており、これら一对の電気回路基板と異方導電性シートとを挟持部材により前記一对の電気回路基板のおのおのの背面から一体に挟持してなる電気回路基板の組立構造物であつて、かつ前記挟持部材は前記一对の電気回路基板の幅方向に延びた挟持部と、この挟持部の後方に設けた前記挟持部に挟持圧を付与するばね部とを有することを特徴とする電気回路基板の組立構造物。

図面の簡単な説明

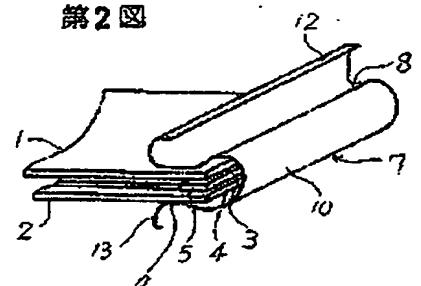
第1図は従来の電気回路基板の組立構造物を示す概略斜視図、第2図は本考案の電気回路基板の組立構造物の一実施例を示す概略斜視図、第3図は本考案の電気回路基板の組立構造物の組立手順を示す概略斜視図、第4図～第11図は本考案において使用する挟持部材のそれぞれ異なる実施例を示す概略面図である。

1, 2 ……電気回路基板、3, 4 ……電気端子、
 5 ……異方導電性シート、6, 7 ……挟持部材、
 8, 9 ……挟持部、10 ……ばね部。

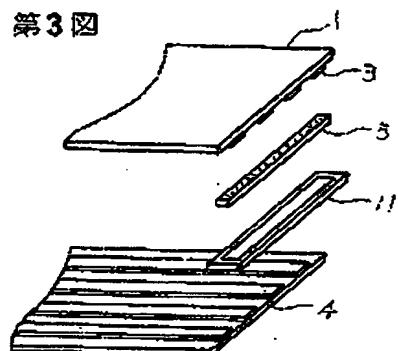
第1図



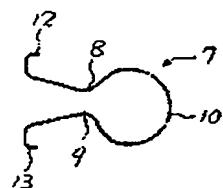
第2図



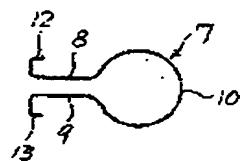
第3図



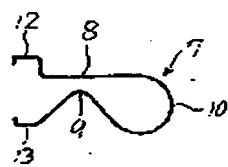
第4図



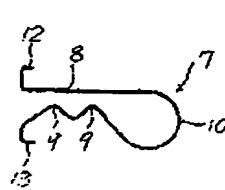
第5図



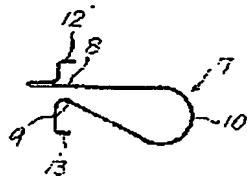
第6図



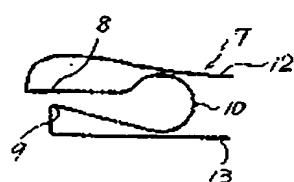
第7図



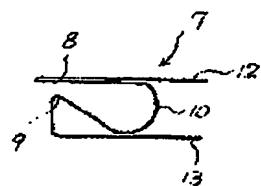
第8図



第9図



第10図



第11図

